

ティアレ 1ポートエクステンションチューブ

再使用禁止

【警告】

【使用方法】

他の医療機器に接続する前に本品のコネクタ、ポート及び混注部を必ず清拭消毒すること。
[細菌が混入する恐れがある。]

【禁忌・禁止】

再使用禁止。

①血管造影剤注入等の高圧注入ラインに使用しないこと。

[破損の恐れがある。]

②チューブを穿刺しないこと。

[空気塞栓を引き起こす恐れがある。]

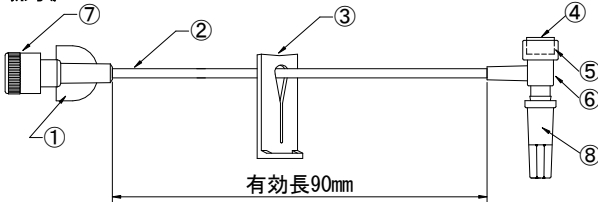
③体動の激しい患者に使用しないこと。

[接続部からの漏れ、抜け、チューブ破断の恐れがある。]

【形状・構造及び原理等】

- ・本品はエチレンオキシドガス滅菌済である。
- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤：フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。
- ・本品は天然ゴムを使用していない。

【形状】



※プライミング容量：0.3ml

【原材料】

- ①メスルアーコネクタ：PC
- ②PVCチューブ：PVC
- ③スライドクランプ：PE
- ④シール：イソブレンゴム
- ⑤リング：ABS
- ⑥Tポート：PC
- ⑦メスルアーキャップ：ABS
- ⑧オスルアーキャップ：PP

【原理】

本品は輸液セット、留置針等と接続する。

【使用目的又は効果】

本品は各種の輸液セット、留置針等と接続し使用する滅菌済み延長用チューブであり、医療機器間の確保、チューブの延長及び薬液の混注等に用いる。

【使用方法等】

以下の使用法は一般的な使用法である。

- ①包装を開封し本品を取り出す。
- ②保護キャップを外し輸液、又は生理食塩水でプライミングを行い、本品内腔に気泡が残らないようにする。
- ③接続状態及び流路を充分確認し、輸液等を開始する。
- ④使用中に接続部の緩みがないか適宜確認する。
- ⑤使用後は感染防止に留意し、安全な方法で廃棄する。

【薬液等の混注を行う場合】

- ①混注部を消毒する。
- ②注射針を混注部のゴム栓に真っ直ぐ穿刺し、薬液等の注入を行う。
- ③終了後は混注部を保持しながら、誤穿刺に注意して注射針を引き抜く。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- ①本品の引っ張り強度は15Nのため、過度な負荷をかけないこと。
[接着部からの漏れや破断の恐れがある。]
- ②本品は150kPaを超える圧力に使用しないこと。
[接続部からの漏れ、破損、抜けが生じる恐れがある。]
- ③本品を鉗子等で強く掴まないこと。
[チューブの切断、内腔の閉塞を引き起こす恐れがある。]
- ④コネクタを接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。
[コネクタが外れなくなる、又は破損の恐れがある。]
- ⑤脂肪乳剤及び卵脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はエタノール等の溶解補助剤等を含む医薬品及びエタノールを含む薬液により、コネクタや混注部にひび割れが生じる恐れがあるため、注意すること。
- ⑥脂溶性の医薬品又は薬液等ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出する恐れがあるので注意すること。
[本品はPVCチューブにポリ塩化ビニルを使用している。]
- ⑦他の医療機器と確実に接続されていることを確認する。また、使用中は破損、接続部の緩みや漏れについて、適宜確認すること。
[接続部からの漏れ、抜けが生じる恐れがある。]

【不具合・有害事象】

その他の不具合

本品の使用により以下の不具合が発生する恐れがある。

- ①汚染、接続不良
[感染を引き起こす恐れがある。]
- ②チューブ切断、変形。
[下記のような原因による切断。]
・挿入時の取り扱いによる傷(ピンセット、鉗子、はさみ、メス、その他の器具での損傷)。
- ③事故または自然抜去。
[下記のような原因による抜去の恐れがある。]
・激しい体動の患者。
・その他上記事象等が要因となる複合的な原因。

その他の有害事象

本品の使用により以下の有害事象が発症する恐れがある。

- ・敗血症

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿、殺菌灯等の紫外線を避けて清潔に保管すること。

【有効期間】

適正な保管方法が保たれていた場合、個包装に記載の使用期限を参照のこと。

[自己認証(当社データ)による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売業者】

クリエートメディック株式会社
電話番号：0126-25-3777